



児童発達支援 わおんだより

《表現あそび》 1月号



今年も残りわずかとなりました。感染症を心配しながらの毎日ですが、マスク着用と消毒、検温に協力して頂いて有難うございます。

子どもたちは友達を意識しながら遊んだり、活動の中で友達を誘う場面を設定すると、友達の名前を呼んで誘えたり、呼ばれた友達も嬉しそうに出てくる場面が見られるようになりました。

12月は押してみようを課題に予定していましたが、ボール運びをいろいろな展開で子どもたちが挑戦してくれたので、継続して実施してきました。

12月の活動の様子



①フリスビー(指先・腕操作)

毎回、紙皿の大きさや形の違う物を使って挑戦しました。最初は腕を上手く振れなかったので飛ばすのに苦労していましたが、回数を重ねると飛ぶようになりました。前に貼ったキャラクターを目掛けることで動きのコントロールができました。

②お玉！ボール運びⅡ(体全体を使った課題)

11月から継続した活動ですが、お玉の大きさを替えたり、お手玉や輪投げを頭にのせてバランスを取りながら歩いたりと難しいことにも挑戦して最後までやっていました。一緒にスタートする友だちやお玉のサイズ、ボールの色を自分で決めてできるようになりました。

1月の活動

※各曜日共通の活動です

①手指操作(制作)・・・福笑い

お正月遊びの一つですが、目・鼻・口・眉毛等を意識して置いて見て、顔の部位を知ります。

②全身運動・・・押してみよう！

押したり引いたりする第1弾。押す時にどうやって？どこに？力を入れるかをボディイメージします。

※ 水筒と汗拭きタオルの用意をお願いします。



2023年も一年間よろしくお願い致します。

児童発達支援わおん スタッフ一同